

心臓リハビリテーション指導士認定制度委員会より

平成 23 年 2 月

心臓リハビリテーション指導士認定制度委員会

牧田茂

委員会より重要な連絡をいたしますので、会員の方や指導士資格をお持ちの方は熟読の上ご理解いただきますようお願い申し上げます。このお知らせは、最新の学会誌（16 巻 1 号）に同様の内容が掲載されています。

I. 第 12 回心臓リハビリテーション指導士認定試験について

平成 23 年 7 月の第 17 回学術集会に合わせて第 12 回日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士の講習会ならびに試験を行います。

第 12 回講習会ならびに試験の概要（予定）

募集人員：300 名

会場：大阪国際会議場（大阪市北区中之島）

日時：

平成 23 年 7 月 17 日（日）（学術集会終了後）

* 第 1 部前半 17 時 30 分～20 時 10 分

- ・ 総論 運動生理学・運動心臓病学
- ・ 運動処方 リハプログラム（急性期・心臓術後）
- ・ 運動処方 リハプログラム（回復期・維持期）

運動負荷試験・レジスタンストレーニング

7 月 18 日（月・祝）

* 第 1 部後半 7 時 20 分～10 時

- ・ 救急処置・安全管理・運動中の心電図の見方と対処・薬物と運動
- ・ 心肺運動負荷試験実習

* 第 2 部 10 時 20 分～13 時

- ・ 総論 病態生理・診断治療
- ・ 栄養学
- ・ 臨床心理学

* 試験 13 時 30 分～14 時 30 分

受験料・審査料：受験料 10,000 円、審査料 15,000 円

講習会、試験の注意事項

- ・ 今回は学術集会との時間の関係で第 1 部を前半と後半に分けて実施します。
- ・ 学会 HP に応募要項を掲載（平成 23 年 3 月ごろ）しますのでよく読んで間違いのないよ

う準備してください。注意事項は受験者に通知いたします。注意事項を守らない場合は受講・受験が不可となることがあります。例年申し込み手続きの不備が認められる方がおりますので注意してください。

- 1) 指定期日内に必ず受講料、審査料を払い込んでください。
- 2) 受験・受講票（事務局用）は写真添付の上、返送することになっております。当日受験・受講票（受験・受講者用）を持参してください（写真添付）。
- 3) 第1部免除の方は、該当する第1部免除の受講証明書を当日持参してください（コピー不可）。
- 4) 「心臓リハビリテーション必携」（心臓リハビリテーション指導士養成テキスト）をもとにして講義をする予定です。テキストは事前に購入してください。希望者は事務局に購入をお申し込み下さい。
- 5) 講習会の遅刻、早退は原則として禁止とします（出欠確認をします）。
- 6) 講習会のビデオや写真撮影は禁止とします。
- 7) 心肺運動負荷試験の実習は呼気ガス分析を用いた実技デモを行います。
- 8) 試験はマルチプルチョイス、マークシート方式ですので、各自黒鉛筆（HBまたはB）数本あるいは黒シャープペンシルと消しゴムを持参してください。
- 9) 合否発表は学会 HP にてお知らせします。

注意) 受験申し込み時に 2 年以上の会員歴が必要となります。入会日から受験申し込み日までの期間を 2 年以上としています。したがって、第 12 回受験希望者は遅くとも平成 21 年 4 月までに入会している必要があります。第 12 回の受験をお考えで、まだ入会されていない方はすでに期日が過ぎておりますので残念ですが受験はできません。したがって、現時点（平成 23 年 2 月）で入会すると第 14 回講習会・試験（平成 25 年度開催 仙台）から受験していただくこととなります。ご自分の入会日がわからない方や不確かな方は、必ず事務局に確認してください。

指導士講習会第 1 部免除について

講習会カリキュラム第 1 部に沿った内容（運動生理学・運動心臓病学、心肺運動負荷試験の講義ならびに実習、運動負荷試験における心電図と安全対策に関する講義）を満たしており、当該講習会代表者が申請し本学会が相当と認めた講習会を受講した方は、直近の指導士講習会の第 1 部が免除されます。

今年度本学会が申請にもとづき認めた講習会は以下の 3 つです。すでに終了したのものもありますが、HP に掲載されますので各自連絡してください。下記講習会受講者には第 1 部免除の受講証明書を渡されますので、指導士講習会まで大切に保存し、当日受付に原本を提示してください。

1) 第 26 回運動処方講習会

日時：平成 22 年 11 月 14 日（日） 終了

会 場：岡山

<http://www.npo-jhc.org/> 参照

2) 第 12 回埼玉心臓リハビリテーションセミナー（予定）

日時：平成 23 年 4 月 17 日（日）

会場：埼玉医科大学国際医療センター（埼玉県日高市）

平成 23 年 3 月ごろに学会 HP 等に詳細を公開します。

3) 第 27 回運動処方講習会（予定）

日時：平成 23 年 6 月ごろ

会場：未定

<http://www.npo-jhc.org/> 参照

症例報告について

受験申請書類の 10 症例の内容をチェックします。不正があった場合は厳正に対処いたします。また、記載内容に不十分な部分がある、あるいは誤りがある場合には、再提出を求めたり、当該年度の受験は認めず研修制度利用をお勧めしたりする場合があります。とくに、運動耐容能（運動負荷試験結果）、運動処方（強度、時間、頻度、期間）、患者指導・教育の記載について自信のない方は、積極的に心リハ研修制度を利用して、研修教育責任者から直接指導を受けて症例報告を作成されることをお勧めします。不十分な記載内容としての具体例については、応募要項公開の際に提示いたします。

平成 24 年度（第 13 回）指導士講習会・試験のお知らせ

第 18 回学術集会（平成 24 年 7 月 さいたま市 大宮ソニックシティ）に合わせて行う予定です。応募予定の方は受験資格を満たす必要がありますので、学会 HP で確認してください。（募集開始は平成 24 年 4 月の予定）。

Ⅱ. 心臓リハビリテーション指導士資格更新単位について

心臓リハビリテーション指導士は、認定を受けた年から 5 年を経たとき、資格更新の認定を受けなければ、引き続き心臓リハビリテーション指導士を称することができません。すなわち資格を取得した次年度から更新期間 1 年目をカウントし、5 年目の認定期間終了までに更新手続きを終了している必要があります。

資格更新に際しての細則の旧規定と新规定の相違点の一覧を載せます（下記表-1）。詳しくは、学会 HP 心臓リハビリテーション指導士制度規則の中の細則 心臓リハビリテーション指導士資格更新の所定単位（旧）（新）をご覧ください。

旧規定と新规定の相違点の一覧表 (表-1)

	旧(単位)	新(単位)
取得単位数(5年間)	20	50
本学会学術集会参加	5	15
本学会学術集会参加回数(5年間)	不要	1回
本学会学術集会発表演者	10	10
本学会学術集会共同発表	5	×
本学会学術集会座長	5	5
本学会認定の教育プログラム(・講演)参加	5	5
本学会認定の学会参加	3	5
本学会認定の学会での発表	3	5
本学会認定の講習会参加	5	5
本学会認定の研究会参加	3	5
本学会学会誌論文(筆頭著者)	10	10
本学会学会誌論文(共同著者)	5	×
本学会認定の学術誌論文(筆頭著者)	5	5
本学会認定の学術誌論文(共同著者)	3	×

本学会:心臓リハビリテーション学会

本委員会:心臓リハビリテーション指導士認定制度委員会

旧規定では本委員会認定とされていましたが新规定では本学会認定と統一しました

新规定の主な変更点

- 1) 5年間に取得すべき単位数を20単位から50単位とする
- 2) 心臓リハビリテーション学会学術集会参加単位数を5単位から15単位にする
- 3) 認定期間内に最低1回心臓リハビリテーション学会学術集会に参加すること
- 4) 学術集会共同発表者および論文共著者の単位は認めない

新しい単位規定は2008年の学術集会より適用し、2009年の更新予定者より新规定を採用します。2008年の更新予定者(1年間の更新猶予者も含める)は旧来の単位計算にて更新とします。

具体的な更新について

- 1) **2008年更新予定者** すでに通知済みで更新手続き終了

旧来の単位規定に則り算定します。したがって、2008年学術集会参加点数は5単位であり、共同発表者ならびに共著者についても単位を認めます。単位延長希望者につい

ては1年間猶予が認められていますが、2009年の単位更新期限時まで旧来の単位規定とします。該当者でまだ更新手続きが終了していない方は、すでに資格が失効しています。

- 2) **2009年更新予定者** すでに通知済みで更新手続き終了
2008年学術集会時より新规定によって計算します。該当者でまだ更新手続きが終了していない方は、すでに資格が失効しています。
- 3) **2010年更新予定者** すでに通知済みで更新手続き終了
新规定によって計算します。手続きがまだ終了していない方は、すでに資格が失効しています。更新手続きは、2010年の学術集会終了後にすでに事務局より更新用の書類一式が送付されており、手続きが終了した方には新認定証が交付されています。
- 4) **2011年更新予定者**
事務局が把握している現在の単位取得状況を該当者にすでに郵送しています。単位数が満たない方は2011年7月までに規定の単位数を満たすように準備してください。2011年更新予定者で単位取得状況が郵送されない方は事務局にお問い合わせください。第17回学術集会終了後に最終取得単位数と申請書類を郵送しますので更新手続きを行ってください。会費納入状況と更新費用納入を確認後新たな認定証が交付されます。
- 5) 資格更新予定者で単位数が満たない方は、本委員会（学会）が認定する学会、講習会、研究会、教育プログラム参加証(名札)のコピー、本委員会（学会）が認定する学会発表演題抄録のコピー、本委員会（学会）が認定する学会の発表論文の別刷りまたはコピーなど資格更新に必要なと思われる証明書類を5年分まとめて更新時に提出しますので保管しておいてください。また、心臓リハビリテーション学会学術集会参加については、学術集会場の学会事務局デスク（学術集会参加受付ではないので注意）にて忘れずに資格更新単位登録票を提出してください。登録票提出を怠ると、事務局で学術集会参加がカウントされません。
- 6) 事務局が把握している単位は、①心リハ学会学術集会参加者で資格更新単位登録票を提出した場合 ②心リハ学会学術集会での発表、座長等 ③心リハ学会誌での論文発表 ④スキルアップセミナー参加 の以上4点です。
- 7) **関連学会の見直し**
資格更新のための関連学会を見直して、心臓リハビリテーションに関連がある領域を扱い指導士の資格更新単位取得のための学会として適していることを条件として、以下の学会を関連学会として新たに認定しました。新たに見直された関連学会は（新）規定として2009年更新予定者から適用されています。
 1. 日本循環器学会
 2. 日本動脈硬化学会
 3. 日本心臓病学会
 13. 日本集中治療医学会
 14. 日本臨床生理学会
 15. 日本心不全学会

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 4. 日本高血圧学会 | 16. 日本冠疾患学会 |
| 5. 日本成人病学会 | 17. 日本理学療法学会 |
| 6. 日本内科学会 | 18. 日本循環器病予防学会 |
| 7. 日本老年医学会 | 19. 日本臨床スポーツ医学会 |
| 8. 日本糖尿病学会 | 20. 日本心血管インターベンション治療学会 |
| 9. 日本胸部外科学会 | 21. 日本循環器看護学会 |
| 10. 日本リハビリテーション医学会 | 22. 日本臨床栄養学会 |
| 11. 日本体力医学会 | 23. 日本心臓血管外科学会 |
| 12. 日本肥満学会 | |

8) **新規規定適用者のための移行措置** (移行措置適用期間は終了しました)

- (1) 移行措置の適用年を 2009 年と 2010 年の 2 年間として、新規規定適用者の便宜を図ることとする。
- (2) 症例報告についても更新単位として認める。認定期間中の経験症例を 10 症例 5 単位と 20 症例 10 単位とする。
- (3) 認定期間中の BLS か ACLS または ICLS 講習会参加についても 5 単位を認める。
- (4) 更新延長猶予期間 (1 年間) について、1 年以上も認める。

注)・資格更新についてのご質問は、学会事務局まで **Email** にてお問い合わせください。

- ・ご自分が何年に更新予定であるか不明の方も学会事務局までお尋ねください。
- ・更新 1 年前には事務局から更新のお知らせを郵送します。お知らせが届かない場合は早めに事務局にお問い合わせください。住所や所属先が変更になった場合も、事務局に必ずご連絡ください。
- ・資格更新の手続きを怠ると指導士資格を失いますので注意してください。また、会費を滞納して会員資格を喪失すると自動的に指導士資格も失うことになります。
- ・指導士資格を失うと、再度新規受験者として講習会を受けて試験に合格し、認定証が交付されないと指導士を名乗ることはできません。

Ⅲ. 心臓リハビリテーション研修制度について

この制度は、心臓リハビリテーションの経験がない会員の指導士受験のために新たに制定された制度です。詳しくは学会 HP をご覧ください。すでに研修が開始されていますので、本年度の新規募集はいたしていません。来年度の研修は学術集会終了後 2011 年秋に募集しますので指導士 HP に注意してください。

研修が許可される方は以下の場合です。

*心リハ学会会員 (2 年の会員歴必要) で心リハ指導士資格取得を希望しているが、心リ

ハの経験がないために受験条件を満たせない方

* 症例報告作成に際して、心リハにそった症例がない方

研修施設として認定された施設は以下の 13 施設です。

- 1) 岩手医科大学附属循環器医療センター (岩手県盛岡市)
- 2) 財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院 (東京都府中市)
- 3) 聖マリアンナ医科大学病院 (神奈川県川崎市)
- 4) 北里大学病院 (神奈川県相模原市)
- 5) 埼玉医科大学国際医療センター (埼玉県日高市)
- 6) 群馬県立心臓血管センター (群馬県前橋市)
- 7) 国立循環器病研究センター (大阪府吹田市)
- 8) 関西医科大学附属枚方病院 (大阪府枚方市)
- 9) 九州厚生年金病院 (福岡県北九州市)
- 10) 東北大学病院 (宮城県仙台市)
- 11) 東海大学医学部附属八王子病院 (東京都八王子市)
- 12) やわたメディカルセンター (石川県小松市)
- 13) 京都府立医科大学附属病院 (京都府京都市)

IV. 心臓リハビリテーション指導士名簿公開について

指導士認定制度委員会としては、公表によって指導士の公的な役割や重要性を社会にアピールしたいと考えております。全指導士の名簿公表を希望しますので、よろしくご協力をお願いいたします。とくに、お名前を公表しないで施設名と施設住所のみ公表を可としている方は、お名前の公表についても今一度ご考慮ください。

今年度の更新作業は終了しております。次回の指導士名簿の更新は、第 12 回指導士試験が終了し、新たな合格者が確定した後になりますので、2011 年の秋以降となります。それ以前の個別対応の更新は予定しておりません。

なお、指導士名簿のアンケート調査・広報活動等の目的での使用は一切禁止します。利用を希望する場合は、目的等を明示し、必ず学会事務局まで E メールまたは郵便で事前に連絡してください。委員会等で検討して回答します。

V. 心臓リハビリテーション指導士メールアドレスについて (再掲)

これまで指導士資格取得者でご希望の方にご利用いただいておりますアドレス (×××@c-rehamaster.jp) は今後使用せず、学会入会時に付与される UMIN のアドレス (×××@umin.ac.jp) をすべて使用することとなりました。指導士の方々への諸連絡や案内は今後このアドレスを通じて行うこととなります。ご注意くださいようお願いいたします。ご自分のアドレスをご存じない方は学会事務局へご連絡ください。なお本アドレスは個人情報

報となりますので、アドレスのお問い合わせにつきましては、すぐにはお答えできません
のでご了承ください。